

# ICOM

## ご使用になる前に

## SATELLITE PTT IC-SAT100M

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書では、注意事項と接続や設置のしかた、別紙の「ご利用ガイド」では基本操作を記載しています。

本製品の詳細な設置や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート情報→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。
<b>アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード</b> https://www.icom.co.jp/support/


アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

<b>アイコム株式会社</b>		
547-0003 大阪府平野区加美南1-1-32 202112	A7598W-1J-1a Printed in Japan © 2020–2021 Icom Inc.	

## アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

- 保証期間中は**  
お買い上げの販売店にお問い合わせください。  
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間後は**  
お買い上げの販売店にお問い合わせください。  
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 保証書について**  
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 弊社製品のお問い合わせ先について**  
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。  
**お問い合わせ先**  
**アイコム株式会社 サポートセンター**  
**0120-156-313** (フリーダイヤル)  
◆ **携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、06-6792-4949** (通話料がかかります)  
**受付 (平日 9:00～17:00)**  
**電子メール：support\_center@icom.co.jp**  
**アイコムホームページ：https://www.icom.co.jp/**

## 安全上のご注意

- **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
- 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<b>△危険</b>	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
<b>△警告</b>	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
<b>△注意</b>	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

**免責事項について**  
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### △危険

**引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**

火災、爆発の原因になります。

### △警告

- **病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。**  
電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- **マイクロホンのケーブルを持って、マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。**  
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。
- **DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。**  
ショートして、発火の原因になります。
- **接続がゆるかったり、DC電源ケーブル(付属品)や接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。**  
ショートして、発火の原因になります。
- **長時間使用しないときは、安全のため本製品に接続する電源を取りはずしてください。**  
発熱、火災の原因になります。
- **雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルには、絶対に触れないでください。**  
感電の原因になります。
- **ぬれた手でDC電源ケーブル(付属品)、または本製品に触れないでください。**  
感電の原因になります。
- **指定以外のヒューズを使用しないでください。**  
感電、けがの原因になります。
- **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**  
感電、けがの原因になります。
- **次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。**
  - 指定以外の電源や電圧を使用しないでください。
  - DC電源ケーブル(付属品)を接続するときは、⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性を間違えないように十分注意してください。
  - DC電源ケーブル(付属品)のヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
  - 本製品のDC電源ケーブルにホコリが付着した状態で使用しないでください。
  - 本製品のDC電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
  - 指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
  - 線材のような金属物を入れたり、水につけたりしないでください。
  - 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。

- **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**  
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

### △注意

- **針金などの細い棒などで、マイクコネクターに触れないでください。**  
故障の原因になることがあります。
- **本製品のマイクコネクター部分に金属片やゴミを付着させないでください。**  
ショートして、発火の原因になることがあります。
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。**  
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- **指定以外の別売品を使用しないでください。**  
故障の原因になることがあります。

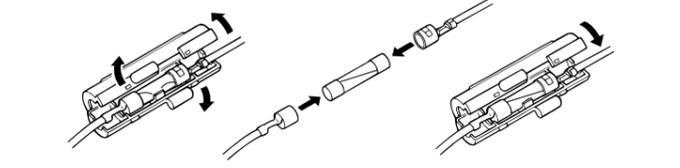
- **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**  
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- **長時間使用すると、無線機本体の温度が高くなりますので、無線機に触れないでください。**また、周囲の人が無線機に触れないようにご注意ください。  
やけどすることがあります。
- **−30℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。**  
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**  
ラジオやテレビなどに電波障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**  
けが、故障の原因になることがあります。
- **本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。**  
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**  
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
- **ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。**ただし、ケーブルなどのプラグ(先端)部分は、絶対に水を含ませた布でふかないでください。

## 防塵/防水性能について

マイクロホンを無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。
○ 雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
○ マイクロホンを接続していない、または正しく接続されていない
○ 落としたりして、強い衝撃が加わったとき
○ 本製品を分解、または改造したとき
○ 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
○ 水や海水につけたとき
○ −30℃～+60℃以外の環境で使用したとき

## ヒューズの交換について

DC電源ケーブル(付属品)には、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



## 電波ノイズについて

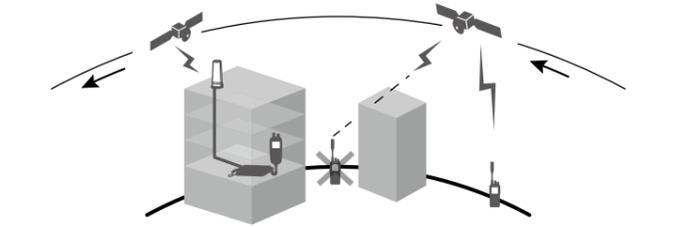
以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。インバーター回路内蔵のおもな電子機器
○LED照明器具 ○電磁調理器 ○給湯器
○自動車に搭載された電子機器 ○太陽光発電装置

## 電波法上のご注意

- 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。その証として、技適マークが本製品の認証画面([OK]>情報>認証)に表示されています。分解や改造をしないでください。
- 海外でご使用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。付属品、または別売品アンテナを加工して使用したり、弊社指定以外のアンテナを使用したりすると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。

## 運用時のご注意

- 同一軌道を周回する複数の衛星を利用していますが、衛星の位置や障害物の有無によつては、送受信できないことがあります。通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 信号が遮断されるようなものでアンテナを覆わないでください。



## 取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。移動局として車内に無線機を設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。
- 車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。
- 磁気カードを無線機に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。
- パソコンやその他の周辺機器の取扱扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。

本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 付属品

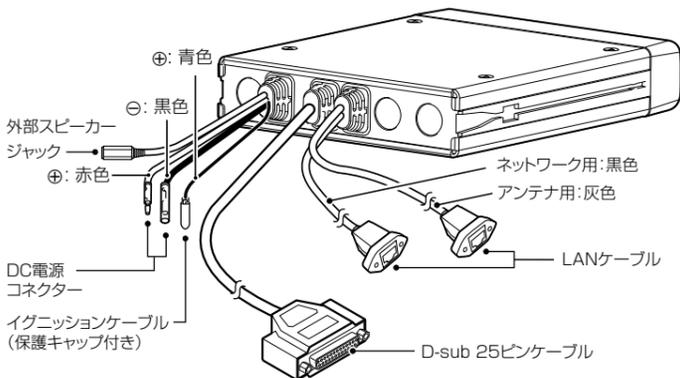


- ★1 アンテナユニットは、IEEE802.3atに準拠したPoE受電機能に対応しています。
- ★2 車載ブラケットを使用して無線機を車内に固定するとき、振動による音を抑えたいときなどに取り付けします。詳しくは、弊社ホームページに掲載している取扱説明書(PDF)をご覧ください。
- ★3 車載ブラケットを使用して、PS-230Aに無線機を取り付けるときにも使用します。詳しくは、PS-230Aの取扱説明書をご覧ください。

## 別売品

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。※ 別売品について詳しくは、弊社ホームページ https://www.icom.co.jp/ をご覧ください。

## 各部の名称



## 無線機本体の電源について

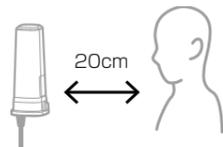
無線機本体の電源として、バッテリー(DC12V、またはDC24V)、卓上電源装置(別売品: PS-230A)が使用できます。電源の接続については、弊社ホームページに掲載している取扱説明書(PDF)をご覧ください。

## アンテナユニットの設置場所

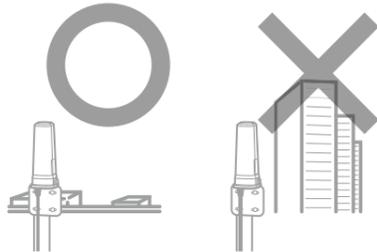
### ご注意

複数台を近距離で使用の場合、電波障害を避けるため、アンテナユニット同士は1.5m以上はなすようにしてください。

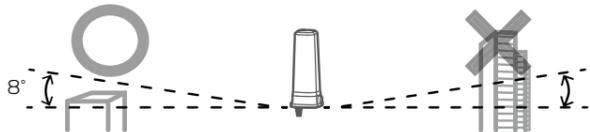
◎電波障害を受けたりする原因になるため、アンテナユニットから20cm以上はなれて使用できる場所に設置してください。



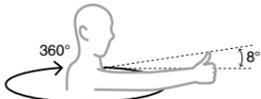
◎周辺の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなることがあります。衛星からの信号を良好に受信するため、障害物がない広い空間をおすすめします。



◎空がよく見える場所に設置してください。アンテナユニットの周囲に仰角約8度を超える範囲に建物や木々など、受信の障害になる物がないことを確認してから設置してください。



※仰角8度確認の目安として運用場所を確認するときは、下図のように、腕を水平方向に伸ばし、親指を上向きに立てます。腕を伸ばしたまま360度回転して、仰角約8度の範囲に高い建物や木々など、受信の障害になる物が周囲にないことを確認してください。



## アンテナユニットの設置

### 警告

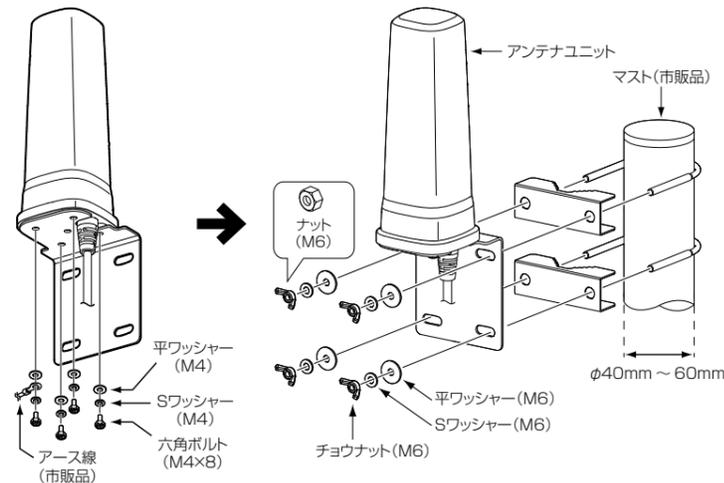
- ◎ 次の事項を守らないと、けがや故障の原因になります。
  - 強度の不足する場所や不安定な場所には、設置しないでください。
  - 強度の不足する部材や腐食しやすい部材をマストとして使用しないでください。
- ◎ 次の事項を守らないと、けがの原因になります。
  - 足場の不安定なところで、設置工事をしないでください。
  - 人の通行をさまたげる場所には、設置しないでください。
- ◎ 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。
  - 指定以外の機器に接続しないでください。
  - 必ず、付属品や弊社指定の別売品を使用してください。
  - アンテナケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
  - アンテナケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ◎ 送電線や配電線の近くには、設置しないでください。本製品の一部に触れ、ショートや発熱により感電や火災の原因になります。
- ◎ 雷が鳴り出したら、本製品には、絶対に触れないでください。感電の原因になります。

### 注意

- ◎ 雷が発生したら、屋外での設置作業をしないでください。火災、感電の原因になることがあります。
- ◎ 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが、故障の原因になることがあります。
- ◎ テレビやラジオのアンテナに隣接して設置しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- ◎ 分解しないでください。けが、感電、故障、電波障害の原因になることがあります。

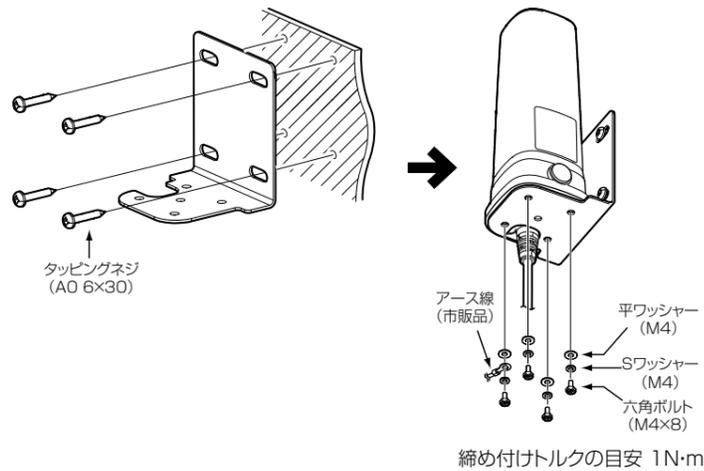
### マストに取り付ける場合

必要に応じて、チョウナット、またはナットを使用してください。



締め付けトルクの目安 1N・m

### 壁に取り付ける場合



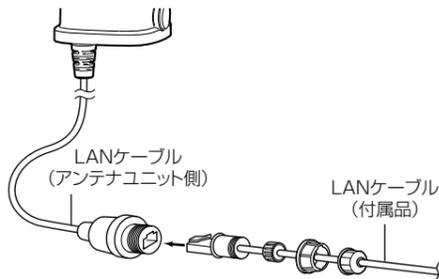
締め付けトルクの目安 1N・m

※ 静電気や落雷による破損を軽減するため、上図を参考に、必ずアース線(市販品)を取り付けてください。

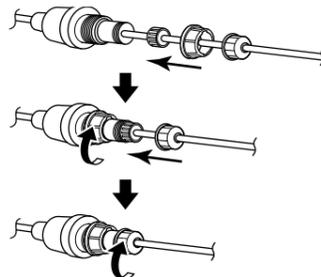
## アンテナユニットの接続

アンテナユニットの電源は、LANケーブルから供給されます。下記の手順で、無線機本体とアンテナユニットをLANケーブルで接続します。

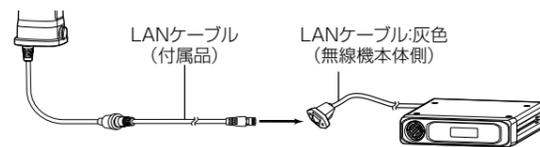
1. LANケーブル(付属品)に付いているカバーをゆるめてから、図のようにアンテナユニット側に接続します。



2. 図のように、LANケーブルのカバーを取り付けて締めます。



3. LANケーブルを無線機本体のアンテナ用LANケーブル(灰色)に接続します。



### 防水処理について

アンテナユニット接続時など、図のように自己融着テープ(市販品)を巻き付けて、内部に浸水しないように防水処理をされることをおすすめします。

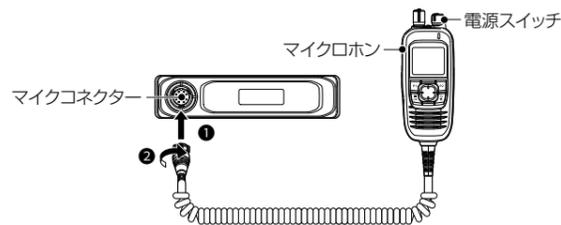


### LANケーブルの接続距離について

100m以内のLANケーブル(市販品)を使用して、無線機本体とアンテナユニットを接続できます。※付属のLANケーブルの延長、切断、市販品への交換などは、防水性や耐久性を保証できません。

## マイクロホンの接続

マイクロホン接続するときは、マイクコネクターに差し込み①、マイクケーブルに付いているカバーを時計方向に回して②ください。※マイクロホンの電源スイッチを長く(約1秒)押しと、無線機の電源が入ります。誤動作の原因になりますので、無線機の電源を入れたままマイクロホンを取りはずしたりしないでください。※操作について詳しくは、別紙の「ご利用ガイド」をご覧ください。

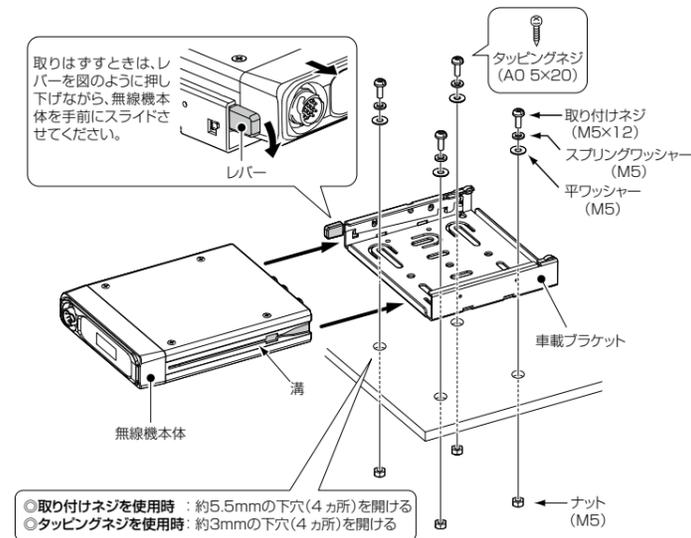


## 車両に取り付けるときのご注意

- ◎ 本製品とバッテリーを接続する前に、DC電源ケーブル(付属品)、およびイグニッションケーブルを配線してください。
- ◎ 自動車に取り付けるとき、前方の視界や運転操作をさまたげる場所など、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。また、フロント、および運転席、助手席のサイドガラスに絶対に取り付けしないでください。交通事故やけがの原因になります。
- ◎ エアバッグシステム装備車に取り付けるとき、このシステムの動作に影響をおよぼす取り付けかたはしないでください。
- ◎ 安全運転に支障がないように(ケーブルなどが絡まらないように)配線してください。
- ◎ 自動車の板金部に沿ってDC電源ケーブルを通す場合、保護用テープを巻くことをおすすめします。DC電源ケーブルと板金部がこすれると、外被が破れ、ショートの原因となることがあります。
- ◎ 取り付け場所の素材や表面加工によっては、はずれやすかったり、表面をいためたりする原因となることがあります。
- ◎ アンテナユニットの取り付けや各種配線については、車両ディーラーや本製品をお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◎ 本製品を自動車に取り付けたあと、本製品の電源を入れた状態で、自動車のブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。
- ◎ 自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼさないようにするため、無線機、アンテナユニットなどは、次のような電波障害留意機器より20cm以上はなして取り付けてください。
  - エンジン関係: 燃料噴射装置/エンジンコントロールユニット(ガソリン車)、グローコントロールユニット(ディーゼル車)
  - トランスミッション関係: 電子制御変速機/4WDコントロールユニット
  - その他: ECS/EPS/ABS/ETACS/フルオートエアコン/オートヒーターコントロールユニット/Gセンサーなど
- ◎ 本製品を操作中、自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼしていることがわかった時点で、本製品の電源を切り、DC電源ケーブルを本製品から抜いてください。

## 車載ブラケットの取り付け

付属の車載ブラケットを利用すると、無線機を車内に固定できます。※固定する場所に応じて取り付けネジ、またはタッピングネジを使用してください。



## ネットワーク接続時のIPアドレスについて

本製品をネットワークに接続して使用するときには、ご利用になる環境に応じて、無線機本体とアンテナユニットの固定IPアドレスなどの変更が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご依頼ください。

### 出荷時の設定

IPアドレス : 192.168.0.1(無線機本体)  
192.168.0.2(アンテナユニット)  
サブネットマスク : 255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.254